

先進自治体視察 2 常任委員会

総務文教委員会

平成26年10月28日(火)に尾張旭市立図書館、名古屋大学減災連携研究センターを視察

読書通帳で利用者が増加－尾張旭市立図書館

平成23年度以降、6歳までの未就学児とその親と思われる30歳から39歳の年代で、貸し出しの減少率が大きかった。読み聞かせの動機づけ、子どもの読書に対する動機づけを行う目的で取り入れた。

反響は大きく、中学生、一般利用者、他市民から読書通帳配布を希望する声があがったことを受け、ダウンロード版として読書記録ノートをHP上で配布を開始した。豊山町も23年度以降、同じように減少傾向である。参考になる取組であった。



実験材料から建物の耐震性を見る－名古屋大学「減災館」

「減災館」で名古屋大学准教授 長江拓也工学博士によるギャラリートーク。「実験材料から建物の耐震性を見る」と題した話であった。1970年代の建物での実験で、中のコンクリートが大きな揺れでスカスカになった。学校の耐震化は進んでいるが、公的建物以外にも広げていく必要があると話された。

被害を出さないためにも必要性は感じるが、どう進めていくべきか難しい問題であると感じた。



福祉建設委員会

11月7日(金)、安城市(人口18万人)の環境保全課清掃事業所と常滑市にあるトーエイ株式会社を視察
使用済み小型家電製品がどのように回収され、リサイクルされ、そのメリットは何か

安城市清掃事業所

所長と課長が小型家電製品の回収に至った背景や経緯・回収状況・実績・経費等について熱心に説明された。そのあとで、私達が事前に提出してあった14項目の質問に対しても、丁寧に答えられた。その後、拠点回収を実施している「リサイクルプラザ」と「エコらんど」の現場を視察した。

実に機能的に分別収集されているのには感心した。



リサイクル業者「トーエイ株式会社」(常滑市)

テレビや、使用済み小型家電の解体現場を見た。有価性の高いプリント基板をもつ家電をすべて手で解体していた。金・銀・銅・レアメタル等はプリント基板の中に最も多く含まれているために手解体で確実に収益を上げているそうである。

この視察研修では、この仕事に誇りを持って取り組み、成功に導いている自治体担当者の熱心さに感動した。

